

マラウイ月報(2014年10月)

主な出来事

【内政】

- ムプウィヨ元財務省予算局長他公金横領事件関連で新たな逮捕
- リロングウェ南東選挙区, 裁判所が再投票を命令
- マラウイ政府, 公金不正利用に関する監査報告書を公表

【外政】

- 張中国外交副部長がマラウイを訪問
- ムルジ元大統領がザンビア独立50周年式典に参加

【経済】

- IMFは今年の平均インフレ率を19.6%と予測
- 中国政府, マラウイからの輸入品に対する免税対象を拡大

【内政】

・ 国会議員・地方議会議員補欠選挙の実施

10月7日, 今年5月に実施された国会議員及び地方議会議員の補欠選挙の投票が行われた。8日に公式結果が発表され, 国会議員では選挙を行った二区両方で与党民主進歩党(DPP)が勝利, 地方議会議員選挙では与党が二地域, 野党マラウイ議会党(MCP)が一地域, 無所属候補が二地域で勝利する結果となった。(10月9日, ネーション紙1-2面, デイリータイムズ紙3面)

・ センザニ元観光文化省次官, 公金横領事件関与で有罪

10月7日, 公金横領に関与した疑いで逮捕されていたセンザニ被告(元観光文化大臣)の判決公判が行われ, 窃盗及びマネーロンダリングの罪で懲役3年が言い渡された, また, 同被告が保有する私企業の資産及び銀行口座残高の没収も命じられた。本件判決により昨年9月に発覚した政府内部の大規模な公金横領事件に関連した初の有罪が確定した。また, 同月17日, シトレ元エネルギー省会計局会計補佐も同事件に関連して有罪判決が言い渡された。(10月8日, ネーション紙, 1-2面, デイリータイムズ紙, 1, 3面, 10月18日マラウイニュース紙1-2面)

・ ムプウィヨ元財務省予算局長他公金横領事件関連で新たな逮捕

10月18日, 汚職行為防止局は, ムプウィヨ元財務省予算局長及び同夫人を公金横領事件に関する窃盗及びマネーロンダリング等の容疑で逮捕した。ムプウィヨ容疑者は昨年9月14日に自宅で銃撃を受け, 同事件をきっかけに政府内部の公金横領事件が発覚, バンダ前大統領は当時, ムプウィヨ容疑者を汚職防止のため戦っていた人物と評していた。同月24日, ムプウィヨ容疑者は保釈金支払い, 旅券提出等を条件に保釈が許可された。この他, 同月中

にツクラ予算公開局長，マカンデ人民党元幹部，チコ・エネルギー規制局職員，ボパニ元警察副長官等が公金横領事件に関連して新たに逮捕された。（10月19日，サンデータイムズ紙1－2面，ネーション・オン・サンデー紙2面）

- ・ **リロングウェ南東選挙区，裁判所が再投票を命令**

リロングウェ高等裁判所は，マラウイ選挙委員会に対し，リロングウェ南東選挙区についての国会議員選挙のやり直しを命令した。同選挙区では与党民主進歩党の候補が僅差で勝利したが，敗れた野党マラウイ議会党候補が選挙結果に異議を訴えていた。同選挙区の投票用紙はマラウイ選挙委員会の倉庫に保管されていたが，原因不明の火災により焼失しており，裁判所は再投票しか解決の方法はないとした。（10月29日，ネーション紙2面，デイリータイムズ紙3面）

- ・ **マラウイ政府，公金不正利用に関する監査報告書を公表**

10月30日，マラウイ政府は，公金不正利用に関する英ベイカーティリー社による監査報告書（最終版）を公表した。同報告書では，公金不正利用に関与した49の個人名及び企業名が掲載され，被害総額は240億クワチャにも上るとの記載がある。同報告書によれば，公金不正利用に関与した主要な政府組織はマラウイ国防軍及び警察で，オディオ前軍司令官も関与者としてあげられている。国民の予想に反し，前政権の幹部であるバンダ前大統領やカチャリ前副大統領の関与は報告されていないが，バンダ前大統領の子息で現職国会議員のロイ・カチャリ氏の関与が言及されている。（10月31日，ネーション紙1，2面，デイリータイムズ紙1，3面）

【外政】

- ・ **張中国外交副部長のマラウイ訪問**

10月16日，張明外交副部長率いる中国政府代表団がマラウイを訪問した。張外交副部長はムタリカ大統領との会談を行い，二国間関係を援助中心から貿易・投資中心へと移行していくことで合意した。中国政府は今回の訪問に合わせ，マラウイに約1800万米ドルを供与，約850万米ドルを貸与した。マラウイ側からは中国が約束した協力案件が終了しつつあることを鑑み，新たな要望リストを提出したとされる。（10月17日，デイリータイムズ紙3面）

- ・ **ムルジ元大統領，ザンビア独立50周年記念式典に参加**

10月24日，ムルジ元大統領はムタリカ大統領の要請に応じ，ザンビア独立50周年式典に参加した。同月16日，ムルジ元大統領は，ムタリカ現大統領から大統領の代理として本件式典に参加してほしい旨頼まれたことを認め，ムタリカ現大統領が社会の様々なセクターを国政に関与させようとしている姿は評価出来る等述べた。（10月19日，ネーション・オン・サンデー紙，3面他）

- ・ **バンダ前大統領、ボツワナ総選挙でのAU選挙監視団長を務める**

バンダ前大統領は10月25日に実施されたボツワナ総選挙のAU監視団長を務めた。バンダ前大統領は10月20日にボツワナに到着した。バンダ前大統領は監視団長として大統領候補等選挙関係者との会談や、投票所の視察などを行った。(10月24日、ネーション紙、3面)

【経済】

- ・ **独政府による法廷用監査への資金援助**

独政府は、2009年～2012年の期間の各省庁の法廷用監査に対し、1824万ユーロの資金援助を行った。プライス・ウォーターハウス・クーパーズ社が監査を実施する予定。(10月11日、ウィークエンドネーション紙1面)

- ・ **2014年インフレ率予測**

IMFは、今年は目標としていたインフレ率1桁台を達成できない見込みであると予測した。IMFによれば、今年の平均インフレ率は19.6%、2015年の平均インフレ率は11.5%となると予測している。一方、国家統計局によれば、9月のインフレ率は23.7%(8月は24.5%)と減少したと発表した。(10月14日、ネーション紙9面、10月22日、ネーション紙10面)

- ・ **シレ・ザンベジ川水運事業の事業化調査進捗**

カサイラ運輸・公共事業大臣は、シレ・ザンベジ川水運事業の事業化調査(FS)について、アフリカ開発銀行からの400万米ドルの資金援助を受けて実施中であり、2015年4月に報告書が公表される予定であると述べた。(10月15日、デイリータイムズ紙2面)

- ・ **テザニ水力発電所に対する我が国支援**

10月16日、電力供給公社(ESCOM)総裁は、カスタマーサービス憲章発表式典のスピーチにおいて、テザニ水力発電所に対して21メガワットの追加供給を可能とする日本政府からの支援が予定されている旨言及した。テザニ水力発電所への支援については現在詳細計画段階にあり、実際の建設は来年の開始が見込まれている。(10月20日、デイリータイムズ紙11面)

- ・ **国家水資源マスタープラン策定に対する我が国援助**

政府は日本政府の支援を受け、新たな国家水資源マスタープランを策定した。マウエル農業・灌漑・水開発次官は、本件マスタープランは、1986年に策定された既存の国家水資源マスタープランの内容が古くなっていたことに対応するため、新たに策定したものであり、当国水資源の適切な管理へ向けた詳細計画を示すものであると述べた。（10月21日、ネーション紙4面）

- ・ **中国の対マラウイ輸入免税対象拡大**

10月20日、張駐マラウイ中国大使及びムワナムヴェカ貿易産業大臣は、中国がマラウイから輸入を行う際の関税について、免税対象を拡大する合意に署名した。ムワナムヴェカ大臣は、今次合意により、新たに葉タバコ、綿、豆類等が免税対象となるとし、国内のビジネスコミュニティに対し、この機会を活用し、中国への輸出を拡大するよう呼びかけた。（10月23日、デイリータイムズ紙9面）